

第8回 京都部会
8月31日(日) パークホテル
地域奉仕委員長 中村 豊



去る8月31日(日)今期の部長標語「ワイズの森を大樹の森に」の下、キャピタルクラブのホストで、我々の古巣であるパークホテルで開催されました。

第一部の式典ではまず恒例のパナーセレモニー。胡内会長の堂々とした自己紹介とクラブ標語の発表でありました。16人のなんでもない一瞬の自己紹介とはいえ、個々の個性が垣間見えたものです。京都部長からはメンバーの増強、つまり500名の達成と、Yの100周年記念事業への取り組みを最大の眼目としたいとの旨の挨拶があり、これに答えて神崎総主事のワイズへの感謝と部会への祝辞が有りました。続いて西日本区大野理事からはメンバー同士の親睦がワイズの生命線であり、これがあればこそそのYでありワイズである旨を話されワイズの世界を慈しんで止まない理事の熱情がひしひしと伝わってくるのでした。続いて各事業主査の活動方針の表明のあと、Yの100周年記念事業のPRもあって休憩タイム。

第2部ではアトラクションとして祝いの席にちなんで狂言「末広がりが」が演じられ、舞台上のキビキビした動きと、マイクを使わなくても充分に隅まで聞こえる大きなハキハキとした声量に、伝統芸能の素晴らしさを垣間見ました。食前感謝と乾杯の後は毎度の盛り上がりとなり、今回は新メンバーも多数加わって楽しいひと時でありました。かつてウェストがパークでお世話になっていた時分のボーイ氏(小川君)も我々の席まで来てくれ、懐かしい思いをしたものでした。

役員会例会報告
9月4日 今出川 YMCA
ファンド委員 市橋 清太郎

9月4日(木)19:00より、今出川YMCAにて、河合ワイズの司会で今期第3回目の役員会例会が行われました。今日は9月6~7日に行われる予定の環境一泊例会の内容についての協議などが行われました。一泊例会では高野ワイズを中心に竹炭の実習が二日間かけて行なうという説明がありました。まさに一泊例会ならではの練習だと思えます。また胡内会長、中瀬ワイズ、島田ワイズが講師となり、それぞれ環境に関するテーマで講演されるそうです。どんな講義になるのでしょうか?お三方の勉強ぶりに期待です!
 お体の都合でやむなく退会されることになった加藤ワイズ

に、何か心に残る記念品を贈れないかという協議が行われました。活発な意見が多数とびだし、これから煮詰めて行く事になりました。これらの熱い協議がなされることだけでも加藤ワイズが、ワイズメンズクラブ、そして京都ウエストに多大な功績を残されたことが伺いしれたような気がしました。役員会議案事項は一部修正がなされるなどして、全会一致で承認されました。

参加メンバー 計17名

環境一泊例会
9月6日・7日 リトリートセンター
地域奉仕委員 笹山 信泰

去る5月10日竹炭炉をリトリートセンターに設置完成し寄贈しました。早急に初釜をと願って居りました処9月6,7日の環境一泊例会を機会に実現することとなりました。

6日(土)10時集合、高野ワイズ指導の元、準備開始。割竹をドラム缶式炭焼き釜に大きい物から順次積み上げて行き細い竹は上部に詰め込む、蓋をして小さい炊き口より点火し団扇で風を送り続ける。間もなく後方の煙突から白い煙がモクモク出始める。二時間程して焚き口を少しずつ閉める。絶対に空気が入らないように釜の周りを土に水を混ぜ合わせコテで押さえ続ける作業およそ3時間。

3時。焚き口を石と土で密封、煙の出方が少しずつ少なくなってくる、そして青い煙に変色し始める。ひたすら煙の量と色を観察しながら釜の中を想像。

6時。煙突を外し土で穴を塞ぐ、封鎖している焚き口を少し開けて酸素を入れ、中の炭に少し火力をつける。このタイミングが大事で炭の出来を左右するらしい。高野ワイズの指示で全部土で密封。作業終了、丁度7時であった。

後は釜が自然に冷える迄、約12時間から14時間待つ。その間1時間ごとに4回程度釜の温度が下がっていることを確認する事。7日(日)AM9:00朝食終了後、胡内会長による釜出しを無事に終了。およそ12kgの竹炭が出来た。初めてにしては上出来との事。

参加者、京都伝統工芸専門学校の大槻 飯田 西浦 田中君達とゲストは、めいぶるクラブの飛田ワイズ、お茶の今村先生ご協力ありがとうございました。6日の夕方には環境問題について胡内会長 島田ワイズ 中瀬ワイズによるメンバースピーチが開かれた。現在では環境を良くする為には莫大な費用が掛かる事が判明した。故に皆の努力で時間をかけて改良すべきであると結論がでた。



参加メンバー メン11名 メネット1名 コメント1名 ゲスト6名 合計19名

びわこ部会参加報告
9月7日
胡内 佳志子メネット

“湖(うみ)の北から何かはじまる...”をキャッチフレーズに長浜クラブのホストにて『第八回びわこ部会』が開催されました。昨年は船で渡った沖島の小学校での開催でしたが、今年は最近注目を浴びている長浜の町<黒壁スクエア>の中にある曳山博物館。今回は“合同メネットの集い(コップや灰皿にすりガラス状の絵付けをするサンドブラスト体験教室)”も同時開催で、その会場も同スクエアの黒壁ガラス館。懇親会はヨットハーバーのある湖畔の北びわこホテル。...と興味津々の会場設定に昨年同様、何だか引き寄せられる感じながらの参加でしたが、期待通りに十分に楽しませて頂きました。特に楽しかった“メネットの集い”では、気が付けばメネット軍団の中に何故か「I love beer」と絵付けをし、懇親会用のマイグラスを必死で作成する京都部直前部長Tワイスの姿も...。そして今回は、畑本メネット事業主任のスタッフとしてメネット事業へのアピールも重要な任務でもあったわけですが、諸川メネット事業主査さんの数々のご配慮のおかげで、多くの献金もして頂くことが出来ました。心より感謝を申し上げます。びわこ部の皆様、ほんとうに有り難うございました。



西中国部第二回部会参加報告
9月13日 広島国際ホテル
環境委員長 中瀬 康平

9月だというのに残暑厳しい13日、広島国際ホテルにて開催されました、第2回西中国部部会に参加してまいりました。当日は部会に先立ち、多数参加した大野嘉宏理事以下西日本区役員と益国西中国部部長以下部役員の皆様との協議会が開催され、主にEMCについての意見を交換し合いました。今期の区役員は非常にアクティブな方が多く、ご自分のワイスに対する熱い気持ちを各部に伝えるべく、或いは、部運営のプラスにしようと、ほとんどの部会に出席される主任・部長さんが目白押しで、部会出席を奨励した書記としては嬉しい様な気持ちもしますが、責任上、自身の出席回数が増えて(9部会中8部会に出席予定)時間的にも、経済的にもつらいものもあります。トホホ。

去年より西部から分離分割された西中国部は、現在5クラブ77名の小さな部です。部会参加も約87名ほどで、それこそアットホームな感覚で、進行も肩肘張らず、気さくに進められました。記念講演として大野嘉宏理事の「ワイズライフは楽しい」と題された講演がありました。柔らかな雰囲気の中で、持ち前の説得力にさらに磨きがかかった、すばらしい講演でありました。部会後は、LT委員会と称してお好み焼き屋に直行し、広島焼きと生ビールで、大いに盛り上がったことは言うまでもありません。

参加西日本区役員/大野嘉宏理事・柴田次期理事・大野信幸 CS・岡本 EMC・吉村ファット・遠藤広報・谷本交流・畑本メネットの各主任 松宮びわこ・仁科京都・森本瀬戸山陰・大野勉六甲・麻上九州の各部長 ホストの益国部長と私の15名。



京都 YMCA100 周年記念
インドツアー報告
副会長 岩本 敬子

「ナマステ」手のひらを合わせて挨拶するインドの習慣です。8/9~16 の日程で思いきって行ってきました。京都 YMCA と交流の深いランチ YMCA でのプログラムセンターの見学では、現地 YMCA 職員らの、使命感を感じて貧しい人々への奉仕活動が、伝わってきました。京都 YMCA が 90 周年の際に協力して建てた新職業訓練センターは 10 年の流れの中で多くの人々を送り出してきました。今直面している受け入れ人数の増加で、増築希望の報告がありました。私自身会員歴が 10 年未満の為、訓練センター等建設について、この旅行を期に知りました。京都 YMCA は海外支援をこのような形で行なっていることを眼の辺りにして感動を覚えました。これからもできる援助を続けて欲しいと感じた次第です。ランチプログラムについての詳細は 10 月 14 日 YMCA で写真公開も含めて、報告会を致します。ご興味ありましたら、御気軽に来てください。

ここからは、私なりのインド旅行体験の印象を書いて見ます。世界人口第 2 位。約 10 億人超のインド。まずは、道路のあらゆる所に牛・犬等動物が人間・車と共存していることです。道路の中央分離帯で、好きな時に横になり好きな時に歩き始める姿は、自然そのまんま。あとから車という文明が入り込んできた感じで

す。この車の数の多さ、バスはホコリまみれ定員オーバーと明らかにわかる（屋根の上にも人が乗っている。）サイドミラーはあっても、たたんでいるか、取り外している。すれすれで走る為不必要。フォンプリーズと大型車には文字が、クラクション鳴りっぱなしで走り抜ける。（これはスリルあった。ランチからブツタガヤまでノンストップで5時間この調子。内臓がひっくり返った感じ。疲れた。）ランチでは停電はしばしば。お金の単位は（ルピー）1ルピー=2.6円。この次期はインドでは雨季にあたる。しかし雨が降り続いたのはベナレスのガンジス川の小船に乗船の間。（下りたら雨はやんだ。残念。聖なる川で物思いにふけりたかった。バスの中で長淵剛の「ガンジス」を聞き、生きる事を、先ほど見た風景を思い出しながら考えた。）アグラの世界遺産タージマハルは本当にすばらしかった。知ってのとおりイスラム建築で、大理石の墓というよりお城である。（入場料の差別化。外国人30倍近く高い。又セキュリティが厳しく、厳重なチェックがある。）インドの女性はきれいである。ほとんどの女性がサリーを身にまとい、しばしば見られるヘソダシルックの発祥はインド？ニューデリーに戻り希望のリクシャーに乗った。（自転車でこぐ人力車のもの）私とペアで140キロは超える重さを若い男の子が一生懸命こいで、笑顔で案内してくれた。滴る汗が、Tシャツににじんでいる。すごいな？どこからでてくるの？このパワーは・・・目も輝いている。力強くしぶとく生きている姿は、見習う所を感じた。下りて少々ながらチップを渡し、笑顔で別れた。インドに向かう時から帰るまで、ベジタリアンであった。（1回だけ肉を食べたが美味しくなかった。）今回の旅行参加人数は6名と少ないが私にはラッキーだった。英語もろくにしゃべれない、ついて行くのが精一杯のこんな私を温かく、受け入れて、見守ってくれました。現地では、在印の方と現地通訳計8名の旅行を経験できて、うれしく感じます。私にとっては、一生の思い出となりました。先程も言いましたが、インドは生きる・生かされることをあらためて考えました。これからは、更なるシンプルライフをめざし、英語を勉強しよう?と思っています

メネット例会報告

9月25日(木) ガーデンパレス
ドライバー委員 牧野 万里子



招きソング「地上の星」が鳴り出し、いよいよ例会の始まり

です。今回は通算558回例会、メネット例会です。今回はメネット例会ということもあり、西日本区畑本久仁江メネット事業主任をはじめ、多くのメネットの方々ゲストとして参加してくださいました。野田君子メネット会長の美声の司会の下、いつもと比べ華やかな雰囲気で開催は進んでいきました。鈴木けい子メネットより、環境の話題を含めた食前の一言をいただき、いつもより感謝して食事を頂くことができました。例会の食前の一言は、日々忘れていた感謝の気持ちを取り戻すことができ本当に貴重なひと時です。今回の講演は、京都環境局環境政策部地球環境政策課の方による環境についての講演でした。地球温暖化という言葉をよく聞きますが、私も、温暖化というのは、単に地球の平均気温が上がるぐらいにしか思ってなかったのですが、最近の自然災害の被害の拡大や、私たちの健康に与える被害（熱中症等）は、温暖化が及ぼす本当に恐ろしい影響だそうです。本来、私たちは雨を降らせたり、止ませたり、風を吹かせたりする力はありません。にもかかわらず、この100年単位の活動の結果が巨大な自然のシステムを変えようとしているのです。環境問題は私たちの生活と密接にかかわる問題です。問題解決の為に、まず私たちが、自分の生活の中で、できる事をやり始めることが大切なのでしょう。まずは、「見つめなおし」そして改善していかなければなりません。早速、例会で頂いた「エコライフチャレンジ」で診断してみようと思っています。今まで他人事だと思っていた環境問題、まずは自分自身から、そしてウエストクラブ一丸となって取り組んで行きたいと思いました。

参加メンバー メン19名 メネット4名 ゲスト16名
コメント1名 計40名



六甲部会報告

9月27日 舞子ピラ
書記 河合 久美子

9月27日(土) 明石海峡大橋と瀬戸内海を間近に望む絶好のロケーションのお洒落な「舞子ピラ」ホテルにおいて、第2回六甲部会が開催されました。ウエストの中瀬西日本区書記・胡内メネット事業会計にお供させて頂いて、野田ワイズ・中原ワイズと一緒に参加させて頂きました。京都部など他の部からの参加者も含め、約150名での部会でした。さんだクラブと神戸学園都市クラブの10周年記念式典も同時に行われ、和太鼓やハンドベルの演奏などもあり、盛り沢山な充実した内容の部会でありました。六甲部は神戸とその周辺の都市の8クラブで構成されていますが、この部会に参加して私の心に強く残ったのは、「阪

神淡路大震災」に関するものでした。恥ずかしながら、私にとって数年前の震災につき最近ではほとんど意識することは無くなってしまっていました。しかし、第1部の記念講演で、神戸で『「夢」サーカス』という劇団を主宰されている浮島智子さんの「愛と勇気と夢」と題するお話をお聞きし、改めて震災について考えると同時に大きな感銘を受けました。アメリカのパレエ団でプリマ・バレリーナとして活躍されておられたのを、神戸の震災で被災した人々に夢と希望を与えるため、その座を捨てて退団、帰国され、被災者の子供達にミュージカルを指導されるなどして皆の心の復興のために東奔西走し尽力されておられるというのです。子供達が練習に通う費用や、場所の確保など様々な難問があるにも拘らず、前向きにとらえて進んでいかれる姿は感動的で、思わず涙してしまいそうになる程、とても印象深いお話でした。第2部の10周年記念式典にて、さんだクラブと神戸学園都市クラブの10年の歩みが紹介されましたが、両クラブとも震災救援活動を精力的に行われてきたことが窺われ、また、第3部のパーティーでは大野勉六甲部長がご自身の参加されているバンドと共に震災に関するオリジナルソングを歌われましたが、神戸や復興に関する想いが強く伝わってくるもので、これもまた印象的でした。「元気です！神戸から 元気です！ワイズから」という部会のテーマも、そういった想いのメッセージがこもったものだと感じられ、私達こそ、かえって元気ももらったような気がしました。

「文化度の高い」「洗練された」部会であったと理事他から講評がなされましたが、私にもまさにそのように思え、心に残る何かを皆がお土産にできたのではないかと思います。終了後はホテル最上階のラウンジにて、大野理事や京都からの参加者にて美味しいお酒をいただき、ゴージャスな明石海峡大橋の夜景を眺めながら贅沢なひと時を過ごさせて頂きました。六甲部の皆様、素敵な部会をありがとうございました。

参加者 中瀬ワイズ・胡内メネット・野田ワイズ
中原ワイズ・河合ワイズ **計5名**

メネットコーナー 立山 益子メネット



近況報告

上の子どもたちが幼稚園の頃、どこの幼稚園や小学校にもあるPTAコーラスに誘われて参加していました。でもPTAコーラスの指導者の方は驚くほど、上手にまたおもしろく教えて下さって、私はどんどん楽しくなって年1回の舞台発表が待ちどうしくなってきました。未っ

子の出産で、4年ほど空白がありましたが、またPTAコーラスに参加できるようになりました。相変わらずヘタなのですが、皆と一緒に声を出す楽しさとストレス解消に参加してきました。そしてPTAコーラスにあきたらず、有志でとうとう“マイカップ”というコーラスグループを結成するようになりました。PTAコーラスの場合、小学校の学芸会や他校との交流会で発表の場はありますが、コーラスグループには発表するところがありません。なぜか大胆にもオーディションを受けて、発表の場を確保しようという考えをメンバーは思いつきました。あの名曲『上をむいて歩こう』をオーディションの曲に選択し、“マイカップ”のメンバーはそれなりに練習に励み7月20日「あなたにメロディを」のオーディションに挑みました。オーディションは気持ちよく歌えて、メンバーは合格を確信していました。その期待通り合格

し、なんと3月に京都コンサートホールの舞台に立つことが決まりました。少し怖いような気がしますが.....。3月にむけてメンバーと共に心を合わせて練習に励みたいと思います。

次のメネットさんは、だあ~れ？

Yサ委員会よりお知らせ
Yサ委員長 野々口 佳孝

京都YMCA100周年記念24時間チャリティーマラソン

京都御御苑(京都市上京区)を1周走るとに100円を募金する、京都YMCA国際福祉専門学校主催の「24時間チャリティーマラソン」が京都YMCA100周年事業として行われます。同マラソンはスポーツを通して世界の慈善活動に協力しようとして、1993年秋に「スポーツイベント企画」の学生三人が中心となって計画し、学園祭のメインイベントとして実施したのが始まりです。ランナー、(休憩者)が御所の周りを交代で走り、(例年)24時間途切れなく誰かがランニングします。今年は京都YMCAの100周年記念事業に位置付けられ、YMCAの会員だけでなく子どもからお年寄りまで、より多くの人たちに参加してもらうために、一般からも広く参加者を募ることにしました。今年も同校の学生が企画・運営し、YMCAのサポートクラブ「京都ウエストワイズメンズクラブ」の協力を得て開催致します。参加者は、京都御苑の周り約4キロを1周するごとに参加費として「100円」以上を募金します。集まったお金は「YMCA国際協力募金」に送り、特に「アフガニスタン難民」のための「小学校と医療活動」を支援する為に募金することにしました。また、合わせて青少年の育成基金及び研修施設充実を目的とした「京都YMCA100周年募金」も募ることにしています。スタート地点は京都御苑・乾御門前で、開催時間中であれば何時からでも参加可能です。スピードを競うものではありませんので家族や友達同士で気軽に参加してください。

日時 2003年 11月1日(土)~2日(日)
午後1時スタート~翌日午後1時(24時間)
場所 京都YMCA国際福祉専門学校 東側
京都御苑 乾御門前 受付スタート
参加費 1人 1周あたり 100円以上
主催 京都YMCA国際福祉専門学校スポーツ委員会
京都ウエストワイズメンズクラブ
お問い合わせ
電話 (075) 432 3191
FAX (075) 432 9440
E-MAIL: ymcollege@kyotoymca.or.jp

~普段、健康の為に走っているあなた
1日だけ人の為に走ってみませんか~
多数の、ご参加お待ちしております。